

タイの基本情報 - 社会保障制度

- 社会保障制度は、年金制度の安定性を高めるべく、政府は民間企業の従業員を対象とする社会保障基金（SSS）の給付開始年齢を55歳から60歳へ引き上げた。公務員については、定年を60歳を63歳に引き上げることを計画している。定年延長に伴う企業の人件費増加に対応すべく、高齢者の雇用に関する追加税制優遇措置の導入も検討している。
- タイではこれまで家族による自宅での介護が一般的であったこともあり、公的な介護保険制度は整備されていない。しかし、少子高齢化がハイペースで進展するなか、従来型の介護体制は破たんするリスクがある。
- 2017年時点で寝たきりの高齢者は約18万人いるが、疾患率の高い80歳以上の高齢者層の増加に伴い、2030年代には30万人を超え、2040年代には50万人台に達すると予想される。そのため、介護が深刻な社会問題化するリスクがある。NHRC（National Human Rights Commission of Thailand、タイ国家人権委員会）は、2018年11月に開催したセミナーで、高齢者への介護放棄や精神的・肉体的虐待といった社会問題が深刻化することに対して強い懸念を表明した。¹

出所：

1. NHRC ウェブサイト「กสม. จัดเวทีรับฟังความคิดเห็นต่อ “ร่างข้อเสนอแนะเพื่อคุ้มครองสิทธิของผู้สูงอายุ”เตรียมขงรัฐบาลเร่ง」
<http://www.nhrc.or.th/News/Activity-News/กสม-จัดเวทีรับฟังความคิดเห็นต่อร่างข้อเสนอแนะเพ็.aspx>